

日本学術会議総合工学委員会原子力事故対応分科会主催
公開シンポジウム
**福島第一原子力発電所事故プロセスの学術的検討
(その2)**

2014 年 9/17(水) 13:30～17:30

日本学術会議講堂

福島第一原子力発電所における2号機の事故進展、ベント操作の妥当性(主として2号機での対応)、3号機 HPCI 停止の妥当性に関する検討結果を中心としての報告およびパネルディスカッション。本シンポジウムを通じて、この検討結果が今後の原子力利用の判断及び安全性向上に役立てられることを期待する。

■ **主催者代表挨拶:** 矢川 元基(原子力事故対応分科会委員長)

■ **講演** 座長 竹田 敏一(福井大学附属国際原子力工学研究所・特任教授)

13:40～14:10: 福島第一原子力発電所事故の時系列、

宮野 廣 (法政大学大学院客員教授)

14:10～14:40: 2号機から最も多くの放射性物質が放出された理由、

白鳥 正樹(横浜国立大学名誉教授)

14:40～15:10: ベント操作の妥当性(主として2号機での対応)、

澤田 隆(日本原子力学会顧問)

15:10～15:40: 3号機における高圧注入系を手動停止した理由、

松岡 猛(宇都宮大学非常勤講師)

■ **パネルディスカッション／福島第一原子力発電所事故で何が起こったのか**

15:55～17:25 司会: 矢川元基

パネリスト:

越塚 誠一(東京大学、元政府事故調査委員会事故原因等調査チーム)

田中 三彦(元国会事故調査委員会委員)

宮野 廣 (法政大学、元日本原子力学会事故調査委員会委員)

山中 康慎(東京電力原子力安全・統括部)

■ **まとめと閉会挨拶:** 松岡 猛(福島第一原発事故調査に関する小委員会委員長)

入場無料・事前申し込み不要(定員 300 名)

お問い合わせ先 シンポジウム担当 e-mail: ryuichi.kikuchi@cao.go.jp

日本学術会議ホームページ <http://www.scj.go.jp>